

ムスリム同胞団

—研究の課題と展望—

小 杉 泰 編

はじめに

本冊子は、昭和63年度文部省科学研究費補助金による「現代イスラーム社会の変容の総合的研究——思想的背景と現状——」の研究成果の一部である。

ここでは、現代のイスラーム社会の変容を、伝統・西洋化／近代化・イスラーム復興という3つの潮流が作り出すものとして、それらのいわば邂逅点に登場した運動としてのムスリム同胞団に焦点を当てた。イスラーム復興運動という観点から見て、この運動が、今世紀のアラブ・イスラーム世界でもっとも重要なものであることに疑問の余地はないであろう。ただし、ここではムスリム同胞団をめぐる個別の事例研究ではなく、マクロ的に見た場合にこれをどのように捉えていくべきか、という視点から、ムスリム同胞団研究そのものの課題と展望、特に成立期の同胞団および同胞団が生れた社会（両大戦間期のエジプト）の研究課題を明らかにすることに努力を注いだ。イスラーム社会を対象とするには学際的取組みが必要であり、その方法を論じることが今後の研究の展開という点からも大いに有効と思われるからである。

なお、ムスリム同胞団に関する網羅的な文献リストを準備してきたが、本書ではその一部の解題を掲載した。近年アラビア語では相当の資料・研究書が刊行されて、従来知られていなかった諸点が明らかにされつつあり、引き続き収集の努力が続けられる予定である。

研究プロジェクト全体の中では、ムスリム同胞団の検証は、マナール派思想の研究（その一部は研究成果報告書・Ⅶとして刊行）からつながるものである。合わせてご高覧を乞う次第である。

また、本書に執筆頂いた皆様、研究会で数々のご教示を頂いた森山茂徳先生（新潟大学）をはじめ、ご協力を頂いた皆様に厚く御礼申し上げたい。

1989.2.10.

目 次

はじめに	iii
〔序〕 ムスリム同胞団研究の全体的眺望のために 編 者	1
〔Ⅰ〕 イスラーム社会の変容とムスリム同胞団	9
現代イスラーム社会の変容とイスラーム復興運動 小杉 泰	11
エジプト現代史におけるムスリム同胞団 加藤 博	23
ムスリム同胞団研究をめぐって 伊能武次	35
〔Ⅱ〕 ムスリム同胞団の運動と展開をめぐって 小杉 泰	41
〔Ⅲ〕 ムスリム同胞団の成立と戦間期エジプト社会	67
「ムスリム社会運動」研究のために 長沢栄治	69
都市の変容と同胞団の発展 店田廣文	84

エジプトの従属と世界恐慌	岡野内正	100
[IV] 文献解題		109
エジプト	小杉 泰	111
ヨルダン	臼杵 陽	128
スーダン	栗田禎子	137
執筆者一覧		150